

2020年度第1回放送番組審議会 議事録（書面会議）

会 議 名	2020年度 第1回 放送番組審議会
期 間	令和2年12月9日(水) ～令和2年12月25日(金)
審 議 委 員	宮原委員長・森木副委員長・有田委員・柄崎委員・北丸委員・國兼委員・豊政委員・ 用田委員・吉近委員・和久利委員 順不同
事 務 局	近藤常務取締役・吉原制作部統括責任者 岡取締役・三國

内 容

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、郵送にて番組DVDを送付し書面にてご意見をいただく形で開催した。

議 事

1) 審議テーマ 毎週火曜日 夕方6時生放送『ニュースLIVE』内にて放送中『たけはら歴史浪漫』に対する意見

竹原市内に溢れている歴史跡を、タネットアナウンサー山内と歴史好きで知識が豊富な新本氏の二人が、まったりぶらり町を歩きながら痕跡を発見し、過去の竹原市に思いを馳せる。

普段何気ない生活の中で気付かなかった歴史跡を再発見し、地元をより深く知るきっかけを作りたい。そして、その場所に訪れてみたいと思えるような番組です。

DVDにて『たけはら歴史浪漫』をご視聴いただき、委員の皆さまからご意見をいただいた。

- ・ 市内の歴史跡を歩き、その歴史に触れ再発見できる内容はすごく良いと思います。実際暮らしていても知らなかったことがたくさんあるでしょうし、今の暮らしの中で気づかなかったり、忘れ去られていたり。

この番組は年代によって感じると思うので、視聴者からの感想を募集して、番組内でその感想を読むこともあったらいいと思います。

また、ぶらり歩きにおつきあいして率直な意見をもらう地元出演者もあると番組内の広がりもあるかも知れません。(特に若年層出演)

番組構成の中で歴史資料のカットがあると、その資料を見たくなったり、どこへ行けば調べられるかも興味の対象になるのでその部分の補足もお願いします。

歴史にはその痕跡だけでなく、俳句などその年代年代での物語もあると思うので地元発掘を楽しめる今後の展開に期待しています。

新本さんのあったかいお人柄が出ていい番組になりそうですね。今後を楽しみにしています。
- ・ 歴史番組楽しく拝見しました。とても良かったです。

今回は、忠海地域で山内さんと新本さん二人となっていたが、地域によって山内さんとその地域の歴史に詳しい人に変えたほうが良いのか、今の二人のほうが良いのか、、、と思った。
- ・ 番組コンセプトについて、私自身も竹原に住んでいながらも知らないこと、行ったことがない場所、まだまだたくさんあり番組を通して得ることができ、新しい発見もあつたりして、とても有為な番組だと

思います。

今回の映像は忠海。忠海は竹原とは違う歴史ある町であると認識していましたが、新本さんと山内アナとの掛け合いも楽しく、次回もまた観たいなと思いました。

実際のニュースLIVEで、第4回、第5回も視聴させていただきましたが、良かったです。

今後他の地区も放映予定とのこと。これもまた楽しみです。

昔から竹原に在住の方、新しく竹原に住まれている方、いろいろな方に竹原を知っていただきたいそして、それはつなげていって欲しいなと思います。

ニュースLIVEでは、たくさんのコメンテーターが出演し新しい企画がどんどん出て、また、前回の審議委員さんの声ですぐ様反映されており柔軟でとてもいいと思います。

一つの企画の案として、竹原のいろんなクラブ、同好会(子どもから大人まで)部活動も含め紹介とかはどうかと思っています。

これからも竹原の皆様が興味あふれる番組作り楽しみにしています。

- ・ 歴史豊かな忠海の黒滝山に西国三十三所が祀られていることを知り驚きでした。今まで登ったことはありますが知らなかった。

新本さんの説明がわかりやすく楽しめました。乃木將軍の腰掛岩に座ってみたいと思いました。

登っていく場所、場所で忠海の景色が変わって見えるのも魅力的です。平山郁夫さんのスケッチした場所のことは聞いたことがあります。

宗派を超えていろいろな神様が存在する歴史の宝庫のように感じた。

とても面白い企画です。市内のいろいろな地域に存在する歴史的な宝を見せてほしいです。

- ・ 今回の「たけはら歴史浪漫」の番組コンセプトおよび番組内容は、最近の作品の中でもとても良い仕上がりだと成っていると感じた。今回の送付戴いたDVDを見る前に、我が家では既に妻が番組を録画をしており、家族で観ていたこともあり改めてその良さを確認できた次第である。

私自身が地元の忠海に在住して約40年以上が経過しているが、まだまだ知らないことも多々あり、改めて地元の歴史に触れることで一層の郷土愛が高まると考える。特に地元在住の高齢者達も当時の記憶が薄れていく中で、昔を懐かしむということや町の歴史伝承という側面からも大切なことと感じる。

タネットアナウンサーの山内巧氏の語りも自然であり好感が持てる。また歴史好きの新本直登氏とは同じ職場で働いた仲でもあり、より身近に感じる。やはり知人ないし友人が出演しているというのは、視聴者を増やす手段としては重要な要素ではないだろうか。

今回は忠海がメインであったが、今後の展開で例えば長浜、大乘、高崎、竹原市内、吉名と継続してこの番組が作成されるとするならば、各地区の地元の方々にご案内戴くと、より多数の皆さんの共感を勝ち取ることが可能となると推察する。

案外それぞれの町には、中高年齢者で歴史好き 話好きの方々も大勢おられるので、そういった方々にもお声掛けすることで、タネット番組のファンが増え、結果として契約者数のアップにも貢献すると思われる。今回の番組は約10分であり、時間的にも丁度良い長さであると思うが、出来ることであれば、このような形でシリーズ毎に40分程度に纏めたものを放映すると再度、楽しむことが出来て良いのではないかと考える。

別の企画で既に存在しているかと思う「地元企業紹介」があったかと記憶しているが、この辺りも同番組とジョイントさせることで、より充実した中身にすることが出来るのではないだろうか。なかなか

それを選出する基準が難しい面もあるかと考えるが、歴史と言う視点で言えば、歴史が古い会社、商店などもこの番組コンセプトにマッチングするかと考える。

100年前からここで商売をしているといったお店も竹原市内にもあるのだろうと思うが、検討してみるのも面白いと思う。歴史の面で言えば、その時代にここで生活していた有名人ないし、郷土が産んだ〇〇さんと言う切り口もあるかと考える。いずれにしても今回の番組が色々と想像を拓げてくれる、良い番組であることは間違いない事実だと考えている。

- ・ 第1回～3回まで、新本さんと山内さんの息の合ったコンビでの散策は楽しんで行われている雰囲気を感じられました。

私も何十年ぶりかでの黒滝山へ息を切らしながら登ってみました。

コンパクトなスペースの中に、三十三仏、石碑、建物などが配置され奥行きを感じさせています。

頂上から見る忠海町もほとんどが見渡せコンパクトな中に同じような奥行きを感じさせます。

又、黒滝山を愛する会の活動も毎週の清掃や管理など黒滝山を愛する熱意を感じます。

ドローンを使った映像が地上からでは見えない景色に変わり山と町並みが俯瞰されて見る事が出来ました。

番組の流れの中で気になったことがあります。

① 乃木將軍腰かけの石

銃砲大隊の施設の後にアトムの工場がある説明がありました。

その頃の建物が現存し使用されている。

② 平山郁夫画伯スケッチの場所

忠海高校の緞帳に残されている。

③ ドローンの映像

アトムの建物や緞帳の写真が入ればより繋がりが理解しやすいのではと思います。

ドローンでの現在の忠海と江戸時代の忠海の古図との対比は映像では難しいですか。

編集や段取りの都合など知らない個人の感想です。

今後の続編を楽しみにしております。

コロナ感染の大変な中、より親しみのもてる番組に変えようと努力されているのを感じております。

- ・ 私も10年以上前に黒滝山に登りましたが、ともしんどかったのを覚えています。しかし、今回のたけはら歴史浪漫を観て、機会がありましたら途中の仏像、石像などをじっくり見て、景色を楽しみながら登ってみたいと思いました。新本さんの黒滝山についての説明はとても分かりやすく、途中にはクイズもあり勉強になりました。竹原市民でも知らないことが沢山あると感じました。また、黒滝山を整備、清掃をされている地域の方は、本当に素晴らしい活動をされていると思いました。それから、やはりドローンからの映像は、黒滝山の美しさ、全容がよくわかりとてもいいですね。カメラマンのお二人は、カメラを安定させながらの撮影は大変だったと思います。これからも、竹原市の素晴らしい場所を巡って「たけはら歴史浪漫」で紹介して頂きたいと思います。視聴者の方から、紹介してほしい歴史のある場所や建物などを募集してみてもいいのではと思います。これから、どんな歴史跡を見ることができると楽しみにしています。

・〈番組のコンセプトについて〉

- ・ 知っていそうで以外に知らない“竹原”のこと。地元局でなければ制作できない内容でとても興味深い。「待ってました」というようなワクワク感がある。
- ・ 「ぶらり旅」として、単に旅番組として楽しめる内容で留めるのか？ それならば「ちょっと行ってみたいな」という感覚は持てると思う。
- ・ もっと歴史的に記録できるような内容にするのか？ 次代の子ども達にわが町のすばらしさを伝え繋ぐために“今”を記録することの重要な役割も担っているように思う。
- ・ 住んでいる町だからこそ知っておきたい。もっとみんなに知ってもらいたい。
風景・歴史・文化そしてここに住む人々も含めて、とても素晴らしい町なのだとことを・・・。
- ・ 小学校で「わが町」を学ぶための「郷土たけはら」という副読本が以前はあったが、現在は全員配布がされていないようだ。
「たけはら歴史読本」を竹原市教育委員会の編集で発行されているが、全員配布ではないようで、授業の時のみ利用されているようです。
以前の副読本として全員配布されていた時は、児童の家庭で大人達も目にすることもあり、わが町について祖父母や周りの大人たちからも語り聞くことができた。
現在のITが活用できる時代、タネット制作の映像がいつでもだれでも視聴できるようになると、更に多方面で活用もできるのでは。

・〈番組内容について〉

- ・ 市内各地での取材番組としてとても期待できる。
- ・ 紹介内容の企画をどのように組み立てるかで地域教材としても活用できる内容になり得ると思われる。
子ども達だけでなく、地域交流センターなどでの生涯学習の場での講座や、実際には現地に歩いていくことの叶わない高齢者の交流の場や、市外から竹原に転入した方、働く方に竹原を知ってもらうために等でも活用範囲は様々に考えられる。
- ・ 案内人の新本様はとてもよく研究されておられるのですが、地元の方の思いも一緒に伝えられるように紹介内容の関係者との事前のコンタクトがしつかりととれるよう、準備が必要かとも思われる。
例えば、忠海編の中で「平山郁夫さんが現忠海高校とご縁のあった方で・・・」と表現されたが、「勝運寺の本堂に下宿され、忠海高校の前身の旧制忠海中学で学ばれた」ということをご存じの方にとっては、「日本画の大家はこの地から羽ばたかれた」と誇りに思われており、「卒業生だったからこそ、体育館の緞帳の原画を百周年記念式典に併せて描いていただけた」等とちょっと残念な表現だなとうけとめられてしまうかも。
- ・ 他の民放TVの取材番組だと、「そうじゃないんだけど・・・」と思う内容でも「仕方ないねー竹原の人じゃないんだから・・・」で済ませることができるが、地元局故に視聴者の見方も厳しくなると思われるので、しっかりとした取材での制作を期待する。

・〈番組尺について〉

- ・ 通常のニュースLIVEでは10分程度で程良いと思う。「つづきは・・・」でまた次回の放送に楽しみが繋がる。
- ・ 完結した場所毎に、HP等で1本もの(20～30分位かな?)で視聴できるようになると色々な活用ができて良いのではと思う。

・〈タネットについての気づき等〉

- ・ コロナ感染者発生についてTVニュースで発表され、ニュースを見ていなかった私はどのように報道されたのか知りたくて「タネットで最新情報が字幕で出てるのでは?」とまず思いつきスイッチを入れた。

以前の災害時や火災報道の時に迅速に緊急放送して下さった実績を高く評価し「竹原で何かあったらタネットを視れば分かる」とさえ思っているから。

一般TVでは伝えきれないことが伝えられるのが、地元TVタネットの魅力。

たまたま、市議会中継再放送を視聴しようとしたらテロップで状況を流してくださっており、20時30分からの市長会見も視聴することができました。

緊急で市長会見の放送が決定したのでしょうか? 放送が開始されてから番組表も掲載変更されていたように思います。

市民の不安をなくすためにも素晴らしい対応だったと感激しました。と同時に、もし18時からのニュースLIVEでの会見放送予告や字幕スーパーで放送予告してくれてたらより多くの方に見ていただけたのでは・・・と残念な思いもあります。

出来れば、緊急なニュースは速報をテロップでも出していただけるとありがたい。

文字放送の枠が使えるならそちらでも。

- ・ 議会中継が午前と午後に番組表を分けて下さったので、傍聴できない時の録画がしやすくなり、当日夜には視聴でき、より早く情報が得られありがたい。

議会が早めに終了した時、CMになるのだが、この部分で番組表が切り替えられたら無駄な録画スペースをとられなくてありがたいのですが、できないものでしょうか?

今回の緊急市長会見が始まった時に、議会中継の録画が停止しましたので技術的には可能なのではないかと思うのですが・・・できるようになればありがたいです。

もちろん、1日後の夜の午前午後をまとめたの再放送も活用して視聴しています。

- ・ 竹原市からの広報の月曜日の番組は、市の職員さん等ご協力くださる方は大変だと思いますが、タイムリーな内容が伝えていただけてとても良いです。
- ・ 市内で火災発生や事故等、情報が入手できないままサイレンの音だけ聞き不安に思うことがあります。新聞報道されるような内容は、テロップ等で表示することはできないでしょうか?
- ・ まだまだタネット活用されていない市民の多いことを残念に思っています。緊急時の対応などの放送内容等広報すれば、もっと利用される方が増えるのではないのでしょうか。

- ・ 居住区でありながら、過去に思いをはせることのない日常の中で、この番組を見るだけで歴史を振り返ることができるのは、一瞬にして心がタイムスリップした感じで心地よさが浮上してきました。

新本さんのゆっくりした口調のお話から、その時代を生き抜いた先人達の生き様、心根を推理しながら、映像を通して探訪できることが楽しさに結びつきました。

また、今回の「黒滝山編」は子どもが小学校の頃、家族4人で登った山でしたが、当時は、頂上を目指すことしか眼中になく、映像を見ながら途中途中の景色は思い出すものの「西国三十三所」の巡礼など全く知ることもなく、石の観音様も全然記憶に残っていないことに気付かされました。「知る」ことによって見方も変わります。

主人と一緒に視聴させていただきましたが、改めて二人で「黒滝山行こうやあ。」と意見があったところです。

タモリさんの「ぶらタモリ」竹原編?・・・などと言いながら。

竹原は、歴史深い町です。また、過去の歴史において、重要な役割を果たした町でもあります。歴史上の偉人もたくさん生み出すと同時に歴史を動かしたであろう人物も多く立ち寄っている町でもあります。

わがまちの歴史探訪はとても興味をそそります。普段、日常生活に追われる毎日の中で、ちょっといっぷくしながら、家に居ながらにして知らない歴史を顧みるのは楽しい時間です。

また、普段はつい遠くへと出かけがちですが、この番組を見ることによって、竹原の町の新たな発見ができ「行ってみようか」と気軽に気の合う仲間や家族と出かけられそうです。

映像で見て、なるほどと確認しながら散策するのも楽しいと思います。

今回の映像では、小さな鳥居を山内さんが実際にくぐってみるというシーンがありましたが、「体験シーン」はワクワク感をそそります。

「体験シーン」これからも期待しています。また、若者目線、居住歴の浅い竹原人の目線で意外な質問をどんどん新本さんにぶつけて番組を盛り上げていってください。

また、私個人としては、旅番組やBSの歴史番組が好きでよく見っていますが、会話の内容の差し支えない場面で、要所要所でバックミュージックなんか合わせて流していただくと、もっと心が番組に注がれるのですが・・・それと、史跡等のお話をされている時は、お二人を映されることもさることながら「説明対象物」にもっとカメラを向ける時間を長くしてもらいたいと感じました。

お二人のコンビと番組の発展に期待しています。

以上、各委員の皆さまから番組に対する感想や貴重なご意見などをいただきました。

本議事録をもってご報告させていただきます。

以上